

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）								
課目名	関係法規・制度					必修・選択の別	必修	
実施期	1年	前期	15時間	後期	15時間	授業時間数合計	30時間	
	2年	前期	－	後期	－	※授業50分を1時間とす		
担当講師	田村英介・関谷葵							
	実務経験	－	法学部学士を有し、関係法規・制度について指導することができる。					
授業概要	美容師免許における国家資格としての社会的意義を理解し、公衆衛生の観点から美容師として遵守すべき具体的な衛生法規およびそれに付随する関連法規について学ぶ。					授業形式	講義	
到達目標	国家試験課目である関係法規・制度について、全員を合格レベルに到達させる。							
教科書 教材	①関係法規・制度（日本理容美容教育センター） ②美容師法関係法令集（日本理容美容教育センター） ③オリジナルプリント							
授業計画 コマ数	1年 前期後期 授業内容							
1・2	美容師になるために①国家試験解説 ②関係法規全体解説 / 法制度の概要①法の役割 ②法の形式							
3・4	法制度の概要③衛生法規の意義と分類 ④法と附属法令 / 衛生行政の概要①衛生行政の意義・分類							
5・6	衛生行政の概要②衛生行政を担う行政機関(保健所) / 小テスト							
7・8	美容師法（人に関する規定）①概説②入所資格③養成施設④試験⑤免許と登録（欠格条件）							
9・10	美容師法（人に関する規定）⑥美容師の義務（遵守すべき衛生措置）⑦業務停止・免許取消							
11・12	美容師法（人に関する規定）⑧管理美容師 / 施設（美容所）に関する規定①概説 ②美容所の開設							
13・14・15	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説							
16・17	施設（美容所）に関する規定③開設者が講ずべき衛生措置 ④美容所以外での業務 / 小テスト②							
18・19	立入検査と環境衛生監視員							
20・21	立入検査と環境衛生監視員							
22・23	関連法規							
24・25	関連法規							
26・27	関連法規							
28・29・30	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説							
成績評価 方法	・ 出席率			定期試験	○	実施する		
	・ 定期試験や小テスト					実施しない		
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価 基準	S評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている						
	A評価	出席率99～95％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている						
	B評価	出席率94～90％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率89～67％以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る						
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）								
課目名	衛生管理					必修・選択の別		必修
実施期	1年	前期	30時間	後期	30時間	授業時間数合計		90時間
	2年	前期	20時間	後期	10時間	※授業50分を1時間とす		
担当講師	水野雅城・関谷葵・木全雄一							
	実務経験	有	美容師免許取得および実務経験を有する他、美容室での実例を元に衛生管理について指導することができる。					
授業概要	衛生管理の3単元において、各内容が何を指して何を求めているのかを、美容師法に沿って理解させる。また、日常の生活や一般常識から見て学習することが役に立つことを理解させる。					授業形式	講義	
到達目標	国家試験課目である衛生管理について、全員を合格レベルに到達させる。							
教科書教材	①衛生管理（日本理容美容教育センター）②オリジナルプリント							
授業計画 コマ数	1年 前期 / 後期 授業内容							
1-3	オリエンテーション ・ 公衆衛生（公衆衛生の概要、公衆衛生の意義と課題）							
4-6	公衆衛生（公衆衛生発展の歴史、理容師美容師と公衆衛生）							
7-9	公衆衛生（保健所と理容師美容師）							
10-12	環境衛生（環境衛生の概要、空気環境）							
13-15	環境衛生（衣服・住居の衛生、上・下水道と廃棄物）							
16-18	環境衛生（衛生害虫とネズミ、環境保全）							
19-21	感染症（人と感染症）							
22-24	感染症（病原微生物）							
25-27	感染症（感染症の予防）							
28-30	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説							
31-33	感染症（理容美容と感染症）							
34-36	感染症（主な感染症、具体的な対策例）							
37-39	衛生管理技術（消毒法）							
40-42	衛生管理技術（消毒法）							
43-45	衛生管理技術（消毒法）							
46-48	衛生管理技術（消毒法）							
49-51	衛生管理技術（消毒法）							
52-54	衛生管理技術（消毒法）							
55-57	衛生管理技術（消毒法）							
58-60	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説							
成績評価 方法	・ 出席率			定期試験	○	実施する		
	・ 定期試験や小テスト					実施しない		
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価 基準	S評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている						
	A評価	出席率99～95％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている						
	B評価	出席率94～90％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率89～67％以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る						
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）

課目名	保健					必修・選択の別	必修
実施期	1年	前期	30時間	後期	30時間	授業時間数合計	90時間
	2年	前期	20時間	後期	10時間	※授業50分を1時間とす	
担当講師	永田浩美・水野雅城・関谷葵・伊藤玲茄						
	実務経験	—	薬剤師免許を有し、保健について指導することができる。または美容師免許取得および実務経験を有する他、美容室での実例を元に保健について指導することができる。				
授業概要	人間の美は体の健康から成ることを学び、人体各器官がどのように機能しているか理解を深める。皮膚科学を通して毛や爪、皮膚付属器官とは何かを理解する。					授業形式	講義
到達目標	国家試験課目である保健について、全員を合格レベルに到達させる。						
教科書 教材	①保健（日本理容美容教育センター） ②オリジナルスライド ③オリジナルプリント ④人体模型・皮膚模型・皮膚疾患模型						
授業計画 コマ数	1年 前期 後期 授業内容						
1-3	美容師と保健の関わり ・ 1章 人体各部の名称頭部顔部頸部の名称						
4-6	1章 眼とその周辺 鼻耳口周辺の名称 ・ 1章まとめ						
7-9	2章 骨格器系 骨のつくりと構造 関節 頭蓋 脊柱						
10-12	2章 体幹の骨、上肢下肢の骨 ・ 3章筋系 主な骨格筋とその働き 頭部の筋～体部の筋 筋疲労						
13-15	2章3章まとめ ・ 4章神経系 神経の成り立ち 中枢神経とその働き 末梢神経とその働き						
16-18	4章末梢神経 自律神経の成り立ちと働き ・ 5章感覚器系 視覚 聴覚						
19-21	5章感覚器系 6章血液循環の仕組み血液 ・ 6章血液の成分、心臓血管						
22-24	6章心臓の仕組み 血管 ・ 循環器系 血液の循環経路 リンパ管系						
25-27	7章呼吸器系 あらまし ・ 器官 鼻腔咽頭 喉頭気管気管支 ・ 肺の仕組みとガス交換						
28-30	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説						
31-33	8章消化器系 消化管のしくみ唾液腺 胃 小腸 大腸						
34-36	8章消化器系 消化管の働き 機械的消化 化学的消化 物質代謝 ・ 皮膚科学1章皮膚の構造						
37-39	皮膚科学1章皮膚の構造 皮膚の表面 表皮の構造 角化細胞から色素細胞 真皮 皮下組織						
40-42	皮膚科学1章皮膚の構造 まとめ・ 皮膚科学2章皮膚と皮膚付属器官の保健 毛の構造 脂腺汗腺						
43-45	皮膚科学3章皮膚と皮膚付属器官の血管神経系 ・ 皮膚科学4章皮膚と皮膚付属器官の生理機能						
46-48	皮膚科学4章皮膚と皮膚付属器官の生理機能 対外保護作用体温調節作用 ・ まとめ						
49-51	皮膚科学 5 章皮膚と皮膚付属器官の保健						
52-54	皮膚科学 5 章皮膚と皮膚付属器官の保健 ・ 皮膚科学 6 章皮膚と皮膚付属器官の疾患						
55-57	皮膚科学 6 章皮膚と皮膚付属器官の疾患						
58-60	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説						
成績評価 方法	・ 出席率			定期試験	○	実施する	
	・ 定期試験や小テスト					実施しない	
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている					
	A評価	出席率99～95％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている					
	B評価	出席率94～90％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通					
	C評価	出席率89～67％以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る					
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）								
課目名	香粧品化学					必修・選択の別	必修	
実施期	1年	前期	15時間	後期	15時間	授業時間数合計	60時間	
	2年	前期	20時間	後期	10時間	※授業50分を1時間とす		
担当講師	橋本紫織・水野雅城・木全雄一・伊藤玲茄							
	実務経験	－	中学理科教員免許を有し香粧品化学について指導することができる。または美容師免許取得後実務経験を有し実例を元に香粧品化学の指導をすることができる。					
授業概要	美容師の実務と関係の深いパーマメントウェーブ溶剤やヘアカラー剤、シャンプー剤、トリートメント剤等について、香粧品化学の観点から内容成分やその作用について理解し、安全に薬剤を扱えるような知識を身につける。					授業形式	講義	
到達目標	国家試験課目である香粧品化学について、全員を合格レベルに到達させる。							
教科書教材	①香粧品化学（日本理容美容教育センター）②オリジナルプリント							
授業計画 コマ数	1年 前期 後期 授業内容							
1・2	香粧品の定義 ・ 物質の構成							
3・4	香粧品の規制 ・ 色材							
5・6	色材、香粧品の規制 ・ 小テスト、解説							
7・8	香粧品の表示、広告 ・ 実験 溶解度の違いについて							
9・10	溶解度 ・ 香粧品と安定性							
11・12	皮膚と水 ・ 頭皮や毛髪、爪の性状							
13・14・15	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説							
16・17	油性原料 ・ 高級アルコール							
18・19	小テスト、解説							
20・21	実験 化粧水の製造							
22・23	プレゼン 化粧水について							
24・25	界面活性剤							
26・27	色剤、香料、その他の配合成分							
28・29・30	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説							
成績評価 方法	・ 出席率				定期試験	○	実施する	
	・ 定期試験や小テスト						実施しない	
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価 基準	S評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている						
	A評価	出席率99～95％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている						
	B評価	出席率94～90％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率89～67％以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る						
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）								
課目名	文化論					必修・選択の別	必修	
実施期	1年	前期	15時間	後期	15時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	60時間	
	2年	前期	20時間	後期	10時間			
担当講師	関谷葵・伊藤玲茄・三輪洋子							
	実務経験	有	美容師としての実務経験を生かし、美容文化の移り変わりを学ばせるだけでなく、各時代背景から、現代ヘアスタイルへの流行の移ろいなどを交えて伝えることができる。					
授業概要	①デザインを生みだすうえで、ヘアメイク、ファッションの歴史を知る。 ②美容師としての地位を確立するまでの歴史を理解する。 ③礼装の種類を理解する。					授業形式	講義	
到達目標	国家試験課目である文化論について、全員を合格レベルに到達させる。							
教科書 教材	①美容文化論（日本理容美容教育センター） ②オリジナルプリント							
授業計画 コマ数	1年 前期 / 後期 授業内容							
1・2	流行について 総論							
3・4	和装 花嫁の礼装 女性の礼装・準礼装 男性の礼装							
5・6	洋装 男性の礼装 女性の礼装							
7・8	理容業・美容業の発生 江戸時代の理容業・美容業							
9・10	近代の理容業・美容業 現代の理容業・美容業							
11・12	ファッション文化史日本編：縄文・弥生・古墳時代 古代(飛鳥・奈良・平安時代)							
13・14・15	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説							
16・17	定期試験の解説 ファッション文化史日本編：平安末・鎌倉・室町・戦国時代							
18・19	ファッション文化史日本編：戦国末・安土桃山時代							
20・21	ファッション文化史日本編：縄文時代から安土桃山時代の服装の流れ							
22・23	ファッション文化史日本編：江戸時代（前期）（中期）							
24・25	ファッション文化史日本編：江戸時代（後期）江戸時代復習							
26・27	ファッション文化史日本編：明治・大正・昭和20年まで							
28・29・30	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説							
成績評価 方法	・出席率			定期試験	○	実施する		
	・定期試験や小テスト					実施しない		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価 基準	S評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている						
	A評価	出席率99～95％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている						
	B評価	出席率94～90％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率89～67％以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る						
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）

課目名	美容技術理論					必修・選択の別	必修
実施期	1年	前期	30時間	後期	30時間	授業時間数合計	150時間
	2年	前期	45時間	後期	45時間	※授業50分を1時間とす	
担当講師	水野雅城・関谷葵・木全雄一・伊藤玲茄・古川ゆりあ・三輪洋子						
	実務経験	有	美容師としての実務経験を活かし、技術を行う上で理論がどのように作用するのかを伝えると共に、理論を深めることで間接的に技術向上を図ることができる。				
授業概要	美容技術理論を学ぶことで美容技術の習得を促し、また技術の習得をもってさらなる美容技術理論の理解を図ることができるよう、実習時やサロン技術の事例なども踏まえて理解度を高めていく。					授業形式	講義
到達目標	国家試験課目である美容技術理論について、全員を合格レベルに到達させる。						
教科書 教材	①美容技術理論 1 ・ 2 （日本理容美容教育センター）②オリジナルプリント						
授業計画 コマ数	1年 前期 後期 授業内容						
1-3	第1章 美容用具 ・ 第2章 シャンプーイング						
4-6	第1章 美容用具 ・ 第2章 シャンプーイング						
7-9	第1章 美容用具 ・ 第2章 シャンプーイング						
10-12	第3章 ヘアデザイン ・ 第4章 ヘアカットイング						
13-15	第3章 ヘアデザイン ・ 第4章 ヘアカットイング						
16-18	第5章 パーマネントウェービング ・ 第6章 ヘアセッティング						
19-21	第5章 パーマネントウェービング ・ 第6章 ヘアセッティング						
22-24	第7章 ヘアカラーリング						
25-27	第7章 ヘアカラーリング						
28-30	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説						
31-33	第8章 エステティック ・ 第9章 ネイル技術						
34-36	第8章 エステティック ・ 第9章 ネイル技術						
37-39	第8章 エステティック ・ 第9章 ネイル技術						
40-42	第10章 メイクアップ ・ 第11章 日本髪						
43-45	第10章 メイクアップ ・ 第11章 日本髪						
46-48	第10章 メイクアップ ・ 第11章 日本髪						
49-51	第12章 着付けの理論と技術						
52-54	第12章 着付けの理論と技術						
55-57	第12章 着付けの理論と技術						
58-60	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説						
成績評価 方法	・ 出席率			定期試験	○	実施する	
	・ 定期試験や小テスト					実施しない	
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている					
	A評価	出席率99～95％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている					
	B評価	出席率94～90％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通					
	C評価	出席率89～67％以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る					
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）								
課目名	運営管理					必修・選択の別		必修
実施期	1年	前期	15時間	後期	15時間	授業時間数合計		30時間
	2年	前期	－	後期	－	※授業50分を1時間とす		
担当講師	木全雄一・伊藤玲茄							
	実務経験	有	美容師免許取得および実務経験を有し、美容室での実例を元に労務管理等について指導することができる。					
授業概要	①経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割を学ぶ。 ②人を雇うことの責任や働くうえで求められることを学ぶ。 ③顧客を満足させるサービスとは何か。それをどう実現するかについて学ぶ。					授業形式	講義	
到達目標	国家試験課目である運営管理について、全員を合格レベルに到達させる。							
教科書 教材	①運営管理（日本理容美容教育センター）②オリジナルプリント							
授業計画 コマ数	1年 前期 後期 授業内容							
1・2	人という資源 人の能力を高める 人をやる気にさせるために ・ 給与 待遇、福利厚生							
3・4	従業員 キャリアプラン 顧客満足を実現するシステム							
5・6	マーケティングミックス コミュニケーション インターネット 接客についての理解							
7・8	カウンセリング コンサルテーション トラブル対応 謝罪のポイント リスクマネジメント							
9・10	労務管理 マーケティング 接客のまとめ							
11・12	理美容所及び従業員の動向 収支と損益 貸借対照表・損益計算書とその意義							
13・14・15	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説							
16・17	個人経営・法人経営別税金の種類と納付時期 税に関する罰則 青色申告制度							
18・19	国民皆年金制度 制度別被保険者と財源負担 制度別給付の概要							
20・21	国民皆保険制度 制度別保険者と被保険者 医療費一部負担金の割合 現金給付の概要							
22・23	介護保険法の目的 被保険者と財源負担 給付制度の概要							
24・25	労働条件の原則 労働時間、休憩、休日、年次有給休暇等 労働安全衛生法の目的							
26・27	健康管理の仕組み 健康診断 雇用保険法の目的 給付制度							
28・29・30	定期試験対策 ・ 定期試験 ・ 試験解説							
成績評価 方法	・ 出席率				定期試験	○	実施する	
	・ 定期試験や小テスト						実施しない	
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価 基準	S評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている						
	A評価	出席率99～95％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている						
	B評価	出席率94～90％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率89～67％以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る						
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）								
課目名	美容実習					必修・選択の別		必修
実施期	1年	前期	150時間	後期	120時間	授業時間数合計		900時間
	2年	前期	235時間	後期	395時間	※授業50分を1時間とす		
担当講師	水野雅城・関谷葵・木全雄一・伊藤玲茄・古川ゆりあ・三輪洋子							
	実務経験	有	国家試験対策に加え、各講師の美容師実務経験を生かし現場に即した技術指導が行うことで、国家試験課題の技術とお客様へ施す技術とのずれを補いながら指導していく。					
授業概要	国家試験実技課題（ワインディング・オールウェーブセッティング・ヘアカッティング）について、合格レベルになるようトレーニングを重ねると共に、就職後の一技術としてお客様へ施術する際の注意点等も同時に指導していく。					授業形式	実習	
到達目標	美容師国家試験合格を目標に技術の向上をはかると共に、美容技術理論に基づいた指導を行い、美容師としての基本的な知識を身に付け、現場で活躍できる美容師の育成を目指す。							
教科書 教材	①美容技術理論 1（日本理容美容教育センター） ②美容技術理論 2（日本理容美容教育センター）							
授業計画 コマ数	1年 前期 / 後期 授業内容							
1-25	美容実習導入・ワインディング（国家試験課題）（ブロッキング、センターブロック）							
26-50	ワインディング（ブロッキング、センター、フロント及び右バックサイドブロック）							
51-75	ワインディング（ブロッキング、センター、フロント、右バックサイド及び右サイド）							
76-100	ワインディング（ブロッキング、センター、フロント、左バックサイド及び左サイド）							
101-125	ワインディング（ブロッキング及び全頭）							
126-149	ワインディング（ブロッキング及び全頭）							
150	定期試験							
151-175	ワインディング（ブロッキング及び全頭タイム取り）							
176-200	ワインディング ・ オールウェーブセッティング（フィンガーウェーブ）							
201-225	ワインディング ・ オールウェーブセッティング（7段目の構成）							
226-250	ワインディング ・ オールウェーブセッティング（1～3段目の構成）							
251-269	ワインディング ・ オールウェーブセッティング（4～6段目の構成）							
270	定期試験							
成績評価 方法	・ 出席率			定期試験	○	実施する		
	・ チェックテストや実技試験					実施しない		
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価 基準	S評価	出席率100％・実技試験評価 特に優れている（100～90点）・平常点 特に優れている						
	A評価	出席率99～95％以上・実技試験評価 優れている（89～80点以上）・平常点 優れている						
	B評価	出席率94～90％以上・実技試験評価 普通（79～70点以上）・平常点 普通						
	C評価	出席率89～67％以上・実技試験評価 やや劣る（69～60点以上）・平常点 やや劣る						
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）								
課目名	専攻（ヘアスタイリスト）					必修・選択の別	選択	
実施期	1年	前期	-	後期	60時間	授業時間数合計	90時間	
	2年	前期	30時間	後期	-	※授業50分を1時間とす		
担当講師	水野雅城・関谷葵・木全雄一・伊藤玲茄・古川ゆりあ・三輪洋子							
	実務経験	有	美容師実務経験の豊富な専任講師のほか、現役美容師にもお手伝いいただきながら授業を実施し、卒業後の実務について早期経験を図る。					
授業概要	1年後期 ベーシックカット（ワンレングスカット、グラデーションカット、レイヤーカット） 2年前期 シューティング、ハイトーンカラー、ブロースタリング、デザインパーマ、ヘアケア、ストレートパーマ					授業形式	実習	
到達目標	ベーシックカットテクニックの習得および基本的なアシスタントテクニックの習得							
教科書教材	オリジナルプリント、カットウィッグ、パーマ剤、カラー剤等							
授業計画 コマ数	1年 後期 授業内容							
1-3	コースカンファレンス、道具や技法の名称、カット姿勢の5つの型、セクション、シェーピング、ブロッキング							
4-6	シザーズワーク、カット姿勢、パネルの引き出し方							
7-9	ワンレングスカット① 手順と注意点のレクチャー							
10-12	ワンレングスカット② 手順と注意点のレクチャー							
13-15	ワンレングスカット③ 40分以内で完成							
16-18	ワンレングスカット④ 30分以内で完成							
19-21	ワンレングスカット⑤ 25分以内で完成							
22-24	ワンレングスカット⑥ チェックテスト							
25-27	グラデーションカット① 手順と注意点のレクチャー							
28-30	グラデーションカット② 手順と注意点のレクチャー							
31-33	グラデーションカット③ 40分以内で完成							
34-36	グラデーションカット④ 30分以内で完成							
37-39	グラデーションカット⑤ 25分以内で完成							
40-42	グラデーションカット⑥ チェックテスト							
43-45	レイヤーカット① 手順と注意点のレクチャー							
46-48	レイヤーカット② 手順と注意点のレクチャー							
49-51	レイヤーカット③ 40分以内で完成							
52-54	レイヤーカット④ 30分以内で完成							
55-57	レイヤーカット⑤ 25分以内で完成							
58-60	レイヤーカット⑥ チェックテスト							
成績評価 方法	・出席率				定期試験	○	実施する	
	・チェックテストや実技試験						実施しない	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価 基準	S評価	出席率100％ ・実技試験評価 特に優れている（90点以上） ・平常点 特に優れている						
	A評価	出席率95％以上 ・実技試験評価 優れている（80点以上） ・平常点 優れている 以上						
	B評価	出席率90％以上 ・実技試験評価 普通（70点以上） ・平常点 普通 以上						
	C評価	出席率67％以上 ・実技試験評価 やや劣る（60点以上） ・平常点 やや劣る 以上						
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）

課目名	専攻（ヘアメイク）					必修・選択の別	選択
実施期	1年	前期	-	後期	60時間	授業時間数合計	90時間
	2年	前期	30時間	後期	-	※授業50分を1時間とす	
担当講師	水野雅城・関谷葵・木全雄一・伊藤玲茄・古川ゆりあ・三輪洋子・足立洋子・露木里枝・杉山智明・森田茉凜・福田希央						
	実務経験	有	ヘアメイクアップアーティストの経験を活かし美容部員の育成やメイク資格取得に向けた指導を行うことができる。日本まつ毛エクステンション協会認定講師としてアイスタイリストの育成や検定取得に向けた指導を行うことができる。				
授業概要	・まつ毛エクステンション：適切な道具の取り扱い・衛生管理・基礎技術を習得する。 ・ヘアメイク：ヘアアレンジからメイクアップまでの基本的な技術を身につけ、サロンで施術できる応用技術までを習得する。					授業形式	実習
到達目標	①まつ毛エクステンションにおいて、MSAアイラッシュエクステンション検定ベーシック取得を目指すと共に、創作アートを仕上げる。 ②ヘアメイクを実践的に学び、習得する。						
教科書教材	①美容技術理論（日本理容美容教育センター） ②各種検定マニュアル						
授業計画 コマ数	1年 後期 授業内容						
1 - 3	教材確認・ラベルシール貼り、ウィッグトレーニング、理論/ホットカーラーについて						
4 - 6	ウィッグトレーニング、理論及び施術後の消毒、保管方法、用具の片付け/ストレートおよびカールアイロン操作						
7 - 9	理論及び身だしなみ、ウィッグトレーニング/ヘアアレンジ基礎編（三つ編み、編み込み、ピンング）						
10 - 12	検定マニュアル、ウィッグ上まつ毛装着、フォトコンテスト作品づくり/ヘアアレンジ基礎編（三つ編み、編み込み、ピンング）						
13 - 15	検定マニュアル、リムービング、注意事項、フォトコンテスト作品づくり/ヘアアレンジ基礎編（シニョン、夜会巻き）						
16 - 18	ウィッグトレーニング、理論/ヘアアレンジ基礎編（シニョン、夜会巻き）						
19 - 21	確認テスト対策後、確認テスト、ウィッグトレーニング/ヘアアレンジ基礎編（ロープ編み、ハーフアップ）						
22 - 24	理論、ウィッグトレーニング/ヘアアレンジ応用編（スタイルづくり）						
25 - 27	ウィッグトレーニング、検定マニュアルの確認/ヘアアレンジ応用編（スタイルづくり）						
28 - 30	検定対策/ヘアアレンジ応用編（スタイルづくり）						
31 - 33	検定対策/ヘアアレンジ応用編（スタイルづくり）						
34 - 36	検定準備、MSAアイラッシュエクステンション検定/ヘアアレンジ応用編（スタイルづくり）						
37 - 39	創作アート作品デザイン及びコンテスト準備/ヘアメイク（ヘアアレンジおよびメイクアップ）						
40 - 42	創作アート作品づくり及びコンテスト作品作成/ヘアメイク（ヘアアレンジおよびメイクアップ）						
43 - 45	創作アート作品づくり及びコンテスト作品作成、投稿作業/ヘアメイク試験（ヘアアレンジおよびメイクアップ）						
46 - 48	ブライダル・婚礼美容の接客業務、結婚式の1日の流れ、ウェディングファッションについて						
49 - 51	ドレス・ベール・グローブの種類、トータルコーディネートを考えてコラージュを作成する						
52 - 54	ブライダルヘアメイク・新婦の小物（ティアラ・ベールなど）の種類と付け方						
55 - 57	ブライダルインナー・ドレスのフィッティング（相モデル）、洋装の新郎新婦のお仕度						
58 - 60	新婦のアテンド・グローブの付け外し、写真撮影時のポーズ、注意点						
成績評価 方法	・出席率			定期試験	○	実施する	
	・検定試験や小テスト					実施しない	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率95%以上・検定試験や小テスト95点以上・平常点 優					
	A評価	出席率90%以上・検定試験や小テスト90点以上・平常点 良 以上					
	B評価	出席率80%以上・検定試験や小テスト80点以上・平常点 可 以上					
	C評価	出席率70%以上・検定試験や小テスト70点以上・平常点 可 以上					
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）								
課目名	サロンワーク					必修・選択の別	選択	
実施期	1年	前期	60時間	後期	60時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	180時間	
	2年	前期	45時間	後期	15時間			
担当講師	水野雅城・関谷葵・木全雄一・伊藤玲茄・古川ゆりあ・三輪洋子							
	実務経験	有	美容師経験をもとに美容師のアシスタントとして求められる基礎的な技術と知識や接客・接遇のポイントを現場のニーズに沿って指導することができる。					
授業概要	1年前期 サイドシャンプー、バックシャンプー、ヘッドスパ、接客（受付、誘導等） 1年後期 ベーシックカット、ヘッドスパ、ヘアカラー 2年前後期 カット、デザインカラー、デザインパーマ、ヘッドスパ等					授業形式	実習	
到達目標	在学時から美容師のアシスタント1～2年目としての意識、技術を身につけさせ、卒業・就職後にはアシスタント3年目として即戦力になれるよう能力向上を目指す。							
教科書 教材	①オリジナルプリント ②各種薬剤							
授業計画 コマ数	1年 前期 / 後期 授業内容							
1 - 6	授業目的・目標の提示、ワゴンセッティング、サイドシャンプーすすぎの手順、注意点を指導、ウィッグを使って相モデルですすぎ							
7 - 12	サイドシャンプー							
13 - 18	サイドシャンプー							
19 - 24	サイドシャンプー							
25 - 30	タオルドライ ・ サイドシャンプー チェック							
31 - 36	バックシャンプー ワゴンセッティング、バックシャンプー・ヘッドスパの手順、ベーシックカット							
37 - 42	バックシャンプー、ベーシックカット・ブロー							
43 - 48	バックシャンプー、ベーシックカット・ブロー							
49 - 54	バックシャンプー、ベーシックカット・ブロー							
55 - 60	定期試験 ベーシックカット・ブロー							
61 - 66	バックシャンプー・ヘッドスパ、カラーリング							
67 - 72	バックシャンプー・ヘッドスパ、カラーリング							
73 - 78	バックシャンプー・ヘッドスパ、ベーシックカット							
79 - 84	バックシャンプー・ヘッドスパ、カラーリング							
85 - 90	バックシャンプー・ヘッドスパ、カラーリングチェック							
91 - 96	実技試験 バックシャンプー、カラーリング							
97 - 102	模擬サロン運営に向けた練習							
103 - 108	カラーリング							
109 - 114	ベーシックカット、カラーリング							
115 - 120	定期試験 カラーリング							
成績評価 方法	・出席率			定期試験	○	実施する		
	・チェックテストや実技試験					実施しない		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価 基準	S評価	出席率100％ ・実技試験評価 特に優れている（90点以上）・平常点 特に優れている						
	A評価	出席率95％以上 ・実技試験評価 優れている（80点以上）・平常点 優れている以上						
	B評価	出席率90％以上 ・実技試験評価 普通（70点以上）・平常点 普通以上						
	C評価	出席率67％以上 ・実技試験評価 やや劣る（60点以上）・平常点 やや劣る以上						
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）								
課目名	メイクアップ					必修・選択の別	選択	
実施期	1年	前期	45時間	後期	45時間	授業時間数合計	90時間	
	2年	前期	-	後期	-	※授業50分を1時間とす		
担当講師	杉山智明・森田茉凜・福田希央・水野雅城・関谷葵・木全雄一・伊藤玲茄・古川ゆりあ・三輪洋子							
	実務経験	有	化粧品ブランドのメイクアップアーティストチームでの活動経験を活かし、基礎的なメイクから実践、撮影にも対応するメイクの指導をすることができる。					
授業概要	1年前期：道具の使い方、衛生的取り扱い方、基礎技術の習得、人に触れる事に慣れ距離感を学び、接客マナーや礼儀作法を身につける、メイクアップ基礎理論を十分に理解する、クレンジング、スキンケア、ベースメイクアップ、ポイントメイク、トレンドメイク 1年後期：フルメイク、メイクアップ基礎技術をサロンで提供できるよう習得する					授業形式	実習	
到達目標	1年前期 化粧品ブランドおよび商品の特徴等を理解する。基本的なメイク技術・メイク検定3級レベルを習得する。 1年後期 ベーシックなフルメイクをトレーニングすると共に、メイク検定2級レベルを習得する。							
教科書教材	①コスメティックアクターアカデミー3級テキスト ②コスメティックアクターアカデミー2級テキスト							
授業計画 コマ数	1年 前期 / 後期 授業内容							
1 - 3	オリエンテーション・CAAメイク検定概要解説・化粧品業界動向および化粧品ブランドの解説・教材解説							
4 - 6	道具の扱い・道具セッティング・スキンケア実習							
7 - 12	ベースメイクの種類と特徴・ベースメイク実習・ハイライトシェーディング・コンプレックス解消メイク							
13 - 15	印象を決める眉の描き方・アイブロウ・クレンジング							
16 - 24	目を大きく見せる3つのポイント・アイメイク強化・血色でつくる似合わせメイク							
25 - 36	フルメイクタイムトライアル・模擬試験・韓国メイク							
37 - 39	検定対策・メンズコスメ検定3級							
40 - 42	前期試験／CAAメイク検定3級受験							
43 - 45	美人コンパス・骨格診断・似合わせのポイント							
46 - 48	メイクバランス・表現方法・フルメイク							
49 - 54	メイクによる色の表現方法・曲線を活かしたメイク・形による表現方法							
55 - 60	直線を活かしたメイク・形による表現方法							
61 - 66	パーツバランス・顔型に合わせた表現方法							
67 - 69	美人コンパス・模擬試験							
70 - 81	後期試験／CAAメイク検定2級受験							
82 - 84	化粧品化学・皮膚化学・スキンケア・インスピレーションメイク							
85 - 90	メンズコスメ検定2級							
成績評価 方法	・出席率				定期試験	○	実施する	
	・検定試験や小テスト						実施しない	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価 基準	S評価	出席率100％ ・実技試験評価 特に優れている（90点以上）・平常点 特に優れている						
	A評価	出席率95％以上 ・実技試験評価 優れている（80点以上）・平常点 優れている 以上						
	B評価	出席率90％以上 ・実技試験評価 普通（70点以上）・平常点 普通 以上						
	C評価	出席率67％以上 ・実技試験評価 やや劣る（60点以上）・平常点 やや劣る 以上						
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）

課目名	トータルビューティ					必修・選択の別	選択
実施期	1年	前期	60時間	後期	30時間	授業時間数合計	120時間
	2年	前期	30時間	後期	—	※授業50分を1時間とす	
担当講師	安齋孝子・足立洋子・露木里枝・水野雅城・関谷葵・木全雄一・伊藤玲茄・古川ゆりあ・三輪洋子						
	実務経験	有	お客様の要望に応じてきた美容師経験から、サロンでのニーズに即したヘアスタイルの講習を行い、パーティヘアからフォーマルヘア、新日本髪までを習得させ、トータルビューティの観点からヘア・まつ毛・アロマ・ネイル等を通してお客さまを満足させる技術と知識を身につけさせる。				
授業概要	アロマ：アロマセラピーについての基礎理論と実践的な活用方法を学ぶ。 ヘアアレンジ：基礎技術とアイロンを使用したカジュアルアップスタイルを学ぶ。 まつ毛エクステンション：基礎知識・基礎技術の習得すると共に、まつ毛・皮膚・眼の構造を理解する。 着付け：浴衣について学ぶ。					授業形式	演習
到達目標	アロマ：自分の持つ効果やその表現について、美容師としてお客様へ伝えられる知識を持つ。 ヘアアレンジ：カジュアルアップスタイルから夜会巻きまでを身に付ける。 まつ毛エクステンション：基礎知識・基礎技術の習得すると共に、まつ毛・皮膚・眼の構造を理解する。 着付け：浴衣を自装できるようにする						
教科書・教材	①美容技術理論1（日本理容美容教育センター）②美容技術理論2（日本理容美容教育センター）③オリジナルプリント						
授業計画 コマ数	1年 前期/後期 授業内容						
1 - 5	精油の扱い方 / バスソルト、精油の抽出方法 / ボディシャンプー						
6 - 10	アロマリラクゼーション、キャリアオイルの種類（トリートメントオイル）						
11 - 15	自然の香りでスキンケア / ブレンド方法、アロマローション / 脳と嗅覚						
16 - 20	まつ毛エクステンション道具の確認 / 用紙でのエクステ毛装着						
21 - 25	施術後の消毒、保管方法、道具のセッティング / 消毒容、衛生面について / ウィッグトレーニング						
26 - 30	上まつ毛装着 / チェックテスト						
31 - 35	浴衣の各部名称 / 自装練習						
36 - 40	浴衣自装練習						
41 - 45	浴衣作品作り / ヘアメイク						
46 - 50	カジュアルアップスタイル						
51 - 55	カジュアルアップスタイル						
56 - 60	カジュアルアップスタイル / 定期試験						
61 - 65	カジュアルアップスタイル						
66 - 70	カジュアルアップスタイル						
71 - 75	夜会巻き（ブロッキング、逆毛の作り方）						
76 - 80	夜会巻き（すき毛の作り方、土台作り）						
81 - 85	夜会巻き（トップまで、練習）						
86 - 90	夜会巻き / 定期試験						
成績評価 方法	・出席率			定期試験	○	実施する	
	・作品評価や小テスト					実施しない	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率95%以上・作品評価や小テスト95点以上・平常点 優					
	A評価	出席率90%以上・作品評価や小テスト90点以上・平常点 良 以上					
	B評価	出席率80%以上・作品評価や小テスト80点以上・平常点 可 以上					

2025年度入学生 (10期生) シラバス (授業計画)

課目名	カウンセリング					必修・選択の別	選択
実施期	1年	前期	45時間	後期	15時間	授業時間数合計	60時間
	2年	前期	—	後期	—	※授業50分を1時間とする。	
担当講師	関谷葵・伊藤玲茄・古川ゆりあ・水野雅城・木全雄一・三輪洋子						
	実務経験	有	ビューティビジネス実務検定認定教員およびスタイリングマップ検定認定講師として、カウンセリングからビジネスマナーまで、美を扱うプロの育成を行うこと				
授業概要	1年前期 一般的なビジネスマナーと美容業界におけるビジネスマナーを学ぶ。 1年後期 カウンセリングに必要な知識と提案の仕方を学ぶと共に、JBCAビューティビジネス実務検定およびF.S.A Styling Map検定の取得を目指すよう知見を養う。					授業形式	演習
到達目標	JBCAビューティビジネス実務検定を取得できる知識を身につける。 F.S.A Styling Map検定を取得できる知識を身につける。						
教科書 教材	①オリジナルプリント ②JBCAビューティビジネス実務検定テキスト ③F.S.A Styling Map検定テキスト						
授業計画 コマ数	1年 前期 / 後期 授業内容						
1 - 3	オリエンテーション・挨拶とお辞儀・敬語（尊敬語、謙譲語、丁寧語）						
4 - 6	敬語テスト・席次のマナー・検定の説明						
7 - 9	色とは何か・パーソナルカラー						
10 - 12	スタイリングマップ 物の色						
13 - 15	スタイリングマップ 物の色 小テスト						
16 - 18	『ビューティ・コーディネーターの仕事』＊トータルビューティメニューの解説						
19 - 21	『美容サロンの仕事』知識と演習						
22 - 24	『美容業界におけるビジネスキャリア』＊1,3,5年後の自分						
25 - 27	『ホスピタリティの理解とスタッフ間コミュニケーション』						
28 - 30	定期試験 ・ 試験解説						
31 - 33	カラーウィッグ体験/夏休み課題発表						
34 - 36	『サロン内のコミュニケーション』 『電話対応の基本』						
37 - 39	『サロンのメディア活用』 『ファッションを理解し美意識をコーディネートする』						
40 - 42	『おしゃれの基本』 『美容基礎理論』						
43 - 45	『美容メニューの基本知識』 『サロンにある器具・用具の基本知識』						
46 - 48	検定対策						
49 - 51	履歴書の書き方						
52 - 54	スタイリングマップ 物の形・人の形						
55 - 57	スタイリングマップ 物の素材・人の素材						
58 - 60	検定対策 ・ 定期試験（検定）/内面の分析						
成績評価 方法	・出席率				定期試験	○	実施する
	・定期試験や小テスト						実施しない
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						
成績評価 基準	S評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている					
	A評価	出席率99～95％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている					
	B評価	出席率94～90％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通					
	C評価	出席率89～67％以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る					
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合					

2025年度入学生 (10期生) シラバス (授業計画)

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）								
課目名	デッサン					必修・選択の別	選択	
実施期	1年	前期	-	後期	30時間	授業時間数合計 ※授業50分を1時間とす	30時間	
	2年	前期	-	後期	-			
担当講師	相川風子							
	実務経験	有	美術大学の予備校講師としての実務経験を活かし、美容業の現場で必要となる専門的な描画・デザイン・色彩を指導することができる。					
授業概要	1年前期 デザインの基礎を学び、美容師の視点で線画・色彩を学ぶ 1年後期 デザインの基礎を発展させ、名刺やポストカードを作成する					授業形式	演習	
到達目標	テーマに沿ったデザイン画やヘアデザイン画の作成ができるようになる							
教科書 教材	①オリジナルプリント ②鉛筆、色鉛筆、スケッチブック、練り消しゴム ③タブレット端末							
授業計画 コマ数	1年 前期 / 後期 授業内容							
1・2	デザインの基礎(1)							
3・4	デザインの基礎(2)							
5・6	デザインの基礎(3)							
7・8	描画ツール(1)基本操作・描画ツール(2)画像の加工、保存							
9・10	描画ツール(3)コラージュ・描画ツール(4)コラージュ							
11・12	描画ツール(5)ペンツールの使い方・描画ツール(6)線画を描く							
13・14	色彩(1)色の構成要素							
15	定期試験 及び課題作品提出							
16・17	色彩(2)身近な配色とカラーチャート							
18・19	色彩(3)パーソナルカラー							
20・21	色彩(4)インテリアと色彩（自分の部屋）							
22・23	名刺作成(1)							
24・25	名刺作成(2)							
26・27	ポストカード作成(1)							
28・29	ポストカード作成(2)							
30	定期試験 及び課題作品提出							
成績評価 方法	・出席率				定期試験	○	実施する	
	・作品評価						実施しない	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価 基準	S評価	出席率100％ ・定期試験や小テスト100点 ・平常点 特に優れている						
	A評価	出席率95％以上 ・定期試験や小テスト90点以上 ・平常点 優れている 以上						
	B評価	出席率90％以上 ・定期試験や小テスト80点以上 ・平常点 普通 以上						
	C評価	出席率67％以上 ・定期試験や小テスト60点以上 ・平常点 やや劣る 以上						
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						

2025年度入学生（10期生） シラバス（授業計画）								
課目名	I T					必修・選択の別		選択
実施期	1年	前期	-	後期	-	授業時間数合計		30時間
	2年	前期	30時間	後期	-	※授業50分を1時間		
担当講師	相川風子・関谷葵							
	実務経験	-	IT系の資格を有し、基本的なコンピューター操作から、資料作成の指導等を行なえることができる					
授業概要	IT機器が使えるだけでなく、IT機器を活用できる能力が必要とされている現代において、Word、Excelの基本と応用的な機能を学習し、プレゼンテーション資料の作成とインターネット利用の					授業形式	演習	
到達目標	インターネット利用のルールとマナーを理解する、iPadの基本操作を理解する。							
教科書 教材	Officeソフトをもとにしたオリジナルプリント、iPad							
授業計画 コマ数	2年 前期 授業内容							
1-3	Windows、mac OSの基礎知識							
4-6	wordの基本操作							
7-9	ビジネス文書の作成(1)wordで送付状							
10-12	ビジネス文書の作成(2)wordで送付状							
13-15	ビジネス文書の作成(3)パワポでプレゼン資料							
16-18	ビジネス文書の作成(4)パワポでプレゼン資料							
19-21	ITセキュリティ、リテラシー							
22-24	LINEスタンプを作る(1)							
25-27	LINEスタンプを作る(2)							
28-30	LINEスタンプを作る(3)・定期試験							
成績評価 方法	・出席率			定期試験	○	実施する		
	・小テスト					実施しない		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価 基準	S評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 特に優れている						
	A評価	出席率99～95％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 優れている						
	B評価	出席率94～90％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率89～67％以上・定期試験や小テスト79～60点以上・平常点 やや劣る						
	D評価	C評価の基準を満たしていない場合						